

令和4年度「グッジョブおだわら」応募一覧

部門	取組名	担当課	① 取組の概要	② 取組前の状況と問題・課題	定量的な効果	賞
フリー	小田原市休日・夜間急患診療所等運営費負担の広域化による歳入増加	健康づくり課	休日・夜間急患診療所等は、休日や夜間における市民の一次救急医療体制を確保するため、小田原医師会、小田原歯科医師会、小田原薬剤師会が開設し、小田原市補助金や診療報酬による収入で運営している。これまで、足柄下郡3町は町民の受診実績に応じた金額を負担徴収しているが、それ以外の自治体の受診者は本市が負担していた。近年は、足柄上1市5町の受診者が一定数あることから、令和元年度から足柄上1市5町を個別に訪問する等、協力をお願いを重ね、3年の年月を要したが、令和5年度からの負担徴収が実現した。	足柄上1市5町からの負担金徴収を実現したことで、特定財源が増額。今後は、毎年20,000千円を超える歳入となる。令和5年度歳入増は、20,148千円。今後は、35年経過した休日・夜間急患診療所等が、安全な診療を継続的に提供できるように、市民に還元する取り組みを検討していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度歳入（下郡3町負担金） 3,797千円 令和5年度歳入（1市8町負担金） 24,024千円（予定） うち足柄上分 20,148千円（予定） 	グッジョブ大賞
フリー	「麒麟氷結+湘南潮彩レモン」の提供	農政課	<p>【取組前の課題】</p> <p>JAかながわ西湘が取り扱っている「湘南潮彩レモン」の知名度が低く、ブランド化が進んでいない。</p> <p>【取組内容】</p> <p>包括連携協定を基に麒麟ビール(株)とJAかながわ西湘と協力し、氷結に湘南潮彩レモンを“追いレモン”として加える「麒麟氷結+湘南潮彩レモン」を地元商店街が販売する取組を支援した。</p> <p>①R4. 4/15～5/15、小田原駅前東通り商店街での期間限定販売 ②R4. 5/3, 4、オダワラデイキャンプでの販売 ③R5. 3/19～5/14、小田原駅前東通り商店街等での期間限定販売</p>	<ol style="list-style-type: none"> 湘南潮彩レモンの認知度向上および消費拡大（地産地消） 将来的には、農業者の所得向上やレモンの植栽が進むことで耕作放棄地解消につながる 新型コロナウイルス感染症で困窮していた商店街の売上向上への後押し 市の負担はレモン代の一部のみとなり、低予算での事業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○事業における湘南潮彩レモンの消費量は計402kg。 ○商店街での販売については、参加店舗が13店舗から2回目には17店舗（1商店街から3商店街に）に広がった。また、消費者および参加飲食店にアンケートをとったところ、おいしさや取り組みについて高評価であった。 ○市場のみでの販売であった湘南潮彩レモンが、1回目の販売以降、一般販売されるようになった。 	金賞
フリー	新保護者連絡配信システム「さくら連絡網」の導入	教育指導課	<ul style="list-style-type: none"> 学校・市教委と保護者との連絡手段として、新たな保護者連絡配信システム「さくら連絡網」を導入（令和4年10月から本格運用） これにより、印刷物配布に係る教職員の負担軽減とペーパーレス化の推進による環境負荷の低減を図る。 欠席の連絡をシステムで行うことにより、朝の電話対応を軽減した。 さらに、市からの情報配信も開始し、保護者へ直接行政情報を届けることを可能とした。 	<ul style="list-style-type: none"> 旧システムでは配信件数に制限があり、緊急時に限定して運用 日常のお便りはプリントで配付しており、印刷物の作成及び配布のための業務負荷がかかる。 欠席の連絡は電話のみのため、朝の電話対応が負担 市から保護者への直接配信が可能となる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の利用登録率(令和4年12月時点)：98.65% 1校当たり配信件数：約20件/月(令和5年2月時点) 1校当たりの欠席連絡件数：約250件/月(令和5年2月時点) 市からの直接配信件数：10件(令和5年3月まで) <p>※定量的効果の算出は困難であるが、印刷に係るコスト減や教職員の勤務時間の短縮に寄与しているものと考えられる。</p>	金賞